

わたしたちの100円が、子どもたちの未来につながる

毎月、組合員の皆さんにご協力をお願いしています「ユニセフ募金」。皆さんの募金がどのように子どもたちに役立てられているかご存じでしょうか。鳥取県生協の「ユニセフ募金」では、世界各地のユニセフ活動に活用される「一般募金」と、国や地域を指定して行われる「指定募金」に分類されます。2015年から行っている「指定募金」では、ミャンマーの子どもたちの栄養・支援プロジェクトに役立てられています。



© UNICEF/UN0579237/Htet

生協のミャンマー指定募金「栄養支援プログラム」

医療従事者や 保健ボランティアを育てる

▶ どんな勉強をするの？

お母さんと生まれてくる赤ちゃんがどんな食事をすれば元気に育つかを勉強します。

▶ 8年間で達成できたこと

8,010人の医療従事者や保健ボランティアが栄養指導と栄養治療ができるようになりました。

栄養サプリメントを配り、 栄養治療・予防する

▶ どんなことをするの？

貧血症のお母さんに鉄分タブレットやビタミンB1カプセル、子どもへ栄養素パウダーを配ります。

▶ 8年間で達成できたこと

栄養サプリメントを20,500人のお母さんに、栄養パウダーを約62,000人の子どもに配りました。

栄養強化ミルクや 栄養治療食を病院に届ける

▶ どんなことをするの？

急性栄養不良で入院した子どもたちへ、栄養強化ミルクを飲ませ、治療や体重回復を目指します。

▶ 8年間で達成できたこと

栄養治療食で2,614人の栄養不良児を治療しました。



村で栄養の知識を広める

▶ どんなことをするの？

医療従事者や保健ボランティアがお母さんや村のメンバーたちに指導します。

▶ 8年間で達成できたこと

栄養についての知識を73,000人のお母さんに広めました。

ユニセフ募金にご協力ください！

注文番号	1522
注文数（一口）	100円



私たちの100円が
子どもたちの未来につながります。



© UNICEF/UN0697906/Oo



ユニセフ・ミャンマー事務所
計画・モニタリング・評価
セクション チーフ
三田 みちるさん

ミャンマーでは、長引く紛争の影響で子どもと妊産婦の栄養状態の悪さが依然として深刻な課題となっています。栄養不良は子どもの免疫力を低下させ、病気にかかりやすくするのに加え、身体の成長を阻み、健康な子どもに比べ12倍も死亡するリスクを高めます。さらに脳の発達が妨げられて学習能力が低下し、生涯にわたって大きな支障をきたす恐れがあります。

皆さまのご支援は、必要な地域で重点的に栄養支援を行い、より多くの子どもと女性に手を差し伸べることに活用させていただいています。